



令和3年9月1日

9月 ちびっこの森通信 vol.52

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・自然の移り変わりに気づき、秋の自然に親しむ
- ・適度にくつろぎ、自分のリズムで過ごす気持ち良さを味わう



ひよこぐみ(0歳児)だより



先月、新たな仲間が加わり、さらに賑やかになったひよこぐみ。当初は不安から涙の日々でしたが、次第に笑顔が見られるようになり、みんなとアイコンタクトで和気藹々なようです。最近、自我の芽生えから以前のバクバク、モリモリから一転、苦手なものは頑なに口を閉じ、“食べないアピール”がはじまるようになってきました。ここは無理強いすることなく気長に待ち、見守り食べれるようになってもらえるといいなあ～と思っています。先月は大雨などの雨天続きで水遊び等が出来なかった分、室内のプレイルームなどで遊ぶことが多くなりました。お兄ちゃんたちの動きに刺激されるように、ひよこぐみの子たちもつかまり立ち、伝え歩きからヨチヨチ歩きと活動が活発になり、行動範囲が広がろうとしています。その分、こどもたちが安全に活動できるよう保育環境を整え、見守っていこうと思います。



うさぎぐみ(1歳児)だより



水遊び開始当初、水がかかると嫌がっていた子も今や昔ですっかり“水”の虜となり、ニコニコ笑顔で水遊びを楽しめるようになってきました。しかし、先月の雨天続きはこどもたちを随分とガッカリな気分させるのに十分すぎるくらいの長期間に亘りました。そんなことはものともせず、日々の生活で紙パンツを指差して尿意を伝え、トイレに行くこと等、頑張る姿が見られるようになりました。さらに給食時間ではエプロンを自分でつけ、おかずをスプーンで掬ったりフォークで刺して食べる、成長した姿も見られるようになってきました。これらの生活基礎習慣のように自分で考え、自分でしようとする(「やってみよう」や「頑張ってみよう」といった自主自立の姿勢をこれからも大切に、よく見守り、成功体験を増やし、さらなる成長に繋げていきたいと思っています。



ぱんだぐみ(2歳児)だより



先月、霧吹きやジョウロによる水の掛け合いで大盛り上がり水遊びを過ごしました。アフター水遊び効果として服の自主的な着脱やトイレトレーニングがお互いの存在がいい刺激となって進んでいるように感じます。他にも、給食の場面で「食べようが、食べまいが、関係ない」といった自分中心主義だったのが、「あの子が食べるだったら、自分も頑張ってみよう」といった仲間意識がいい意味で作用し、いろんなことが相乗効果として現れてきており、大変頼もしく感じています。これからもこのようないい関係性を維持拡大させていければ、さらに目覚ましい成長が期待できるので、よく見守っていききたいと思います。季節の変わり目ですので、体調不良に陥りやすいので保育環境を整えて健康な身体を維持できるようにしていきたいと思っています。



♪今月の唄♪



- ★とんぼのめがね
- ★どんぐりころころ
- ★まつぼっくり



給食だより



日本には四季があり、その時季それぞれの旬の食材を楽しむことができます。げっそりそうなくらいの暑い夏から多少、涼しくなって過ごしやすい秋にまもなくバトンタッチされますね。旬の食材には、大地のエネルギーをたっぷり含み、豊富な栄養成分で私たちの体調を整えてくれる効果が期待できます。また、これからは“実りの～”や“食欲の～”などの冠詞がつくように豊富で美味しい食材が溢れることもご承知の通りです。これらは夏の暑さで弱った胃腸を回復し、身体を温めてくれる効果があります。今回は秋の旬な食材の代表格のさつま芋をクローズアップしたいと思います。さつま芋は芋類の中でも植物繊維の含有量が一番高く、「これを食べたらおならがでる」という説があるくらいです。ですから、まずは便秘改善ができ、血圧を下げる効果が挙げられます。普通、植物繊維が多い食材はこどもには食べづらいものが多いのですが、さつま芋は食べやすいのも注目される点でしょう。また、風邪予防効果のあるビタミンCや不足がちなカルシウムも含まれています。植物に含まれるビタミンCは熱に弱いのが一般的ですが、さつま芋のはでんぷんに包まれているため他の植物と比べ、その残存率が高くなっているのも支持されているところかもしれません。園でも初夏に蔓植した(安納芋&紅はるか)さつま芋が暑さにもめげず元気に大きく育ってきているので秋口には収穫の時を迎えようとしています。この機会にお芋パワーを十二分に身体に取り入れ、夏バテを吹き飛ばしていきたいと思っています。

～行事予定～

- ・体操教室…
- 先生の都合から未定です。
- ・リミック教室… 13日
- ・英語教室… 15日
- ・身体測定… 16日
- ・誕生日会… 27日
- ・避難訓練… 28日

～保育のワンポイント～

世界的にバイオリンの早期才能教室で有名な鈴木鎮一先生の基本理念「どの子も育つ、育て方ひとつ」とは、才能は生まれつきではなく、こどもの“無限の可能性”を信じ「親・指導者(ここでは、保育者)・本人」の三者が力を合せて、その成長をサポートできることを意味しています。今後の保育に生かしていきたい点だと思いますのでよろしく願います。

